



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

[大分県立病院ウェブサイトはこちら](#)

神経内科

「もの忘れ」と「認知症」

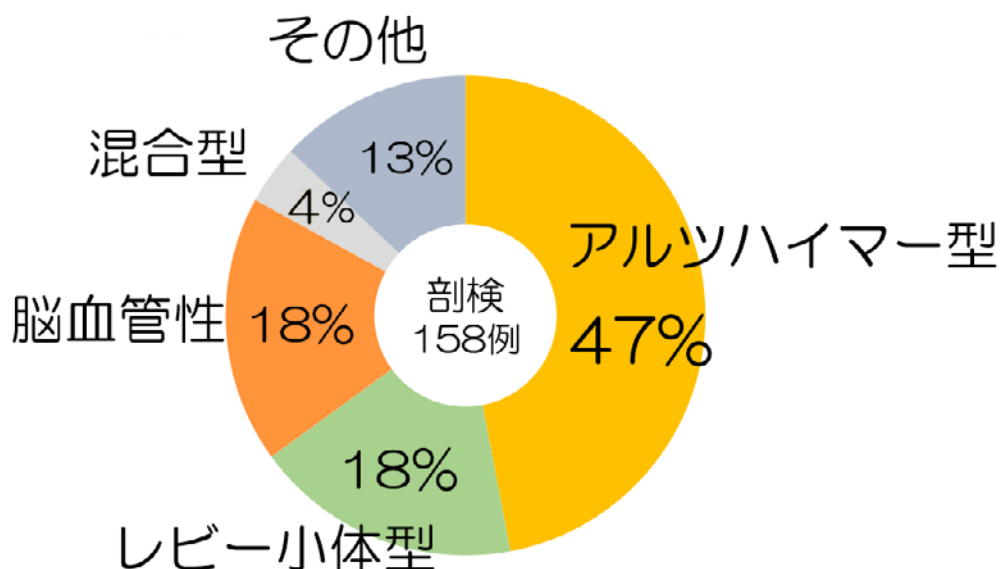
神経内科が担当する病気の中のひとつに認知症があります。もの忘れを主訴に当科を受診される方の訴えは「物のおき忘れがひどくなった」「人の名前を思い出せないことが増えた」など様々です。しかし、『もの忘れをする』ことと『認知症である』こととは異なります。

認知症でなくても、年齢を重ねてゆくと記憶力は低下します。これは加齢に伴った脳の変化が原因です。認知症でない「加齢によるもの忘れ」の特徴は、自分がもの忘れをする自覚があることが多く、そのことによる日常生活への影響があまり目立ちません。一方で、認知症の代表的疾患であるアルツハイマー型認知症では、自分がもの忘れをするものの自覚に乏しく、自分の症状を認めず、はぐらかそうとする傾向が見られます。また、生活にも影響し、鍋に火をかけたことを忘れて焦がしてしまったり、財布や通帳が見つからず大騒動になったりします。



加齢によるもの忘れ	認知症のもの忘れ
体験したことの一部を忘れる	体験したこと自体を忘れる
間違いを指摘されると受け入れる	間違いを指摘されると取り繕う
もの忘れすることを自覚している	もの忘れすることを自覚していない
ヒントがあれば思い出す	ヒントがあっても思い出せない
生活への影響があってもわずか	生活に影響し、支障をきたす
症状は、進行してもゆっくりで軽度	数年で進行していく

「認知症の代表的疾患であるアルツハイマー型認知症」と前述しましたが、他にも様々な原因があります。認知症の原因の約半分はアルツハイマー型認知症ですが、ほかにも「レビー小体型認知症」「脳血管性認知症」「前頭側頭型認知症」などの代表的な認知症があります。



認知症の原因 (Akatsu et al. J Neurol Sci. 2002より作成)

これらの代表的な認知症疾患の他に、いわゆる「治療可能な認知症」があります。これには、特発性正常圧水頭症という疾患や慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症、てんかん、うつ病、電解質の異常(低ナトリウム血症など)、ビタミン欠乏に伴う認知機能の低下など、多くの原因が挙げられます。これらの病態では、一見その人が認知症に罹患したように見えますが、適切な手術や薬剤の補充など、それぞれの原因を治療することで認知機能が回復する可能性があります。

認知機能が低下した原因を、病歴や神経診察、血液検査や画像検査などを利用して適切に診断することが、私たち神経内科医の役割の一つと考えています。

(神経内科 部長 麻生 泰弘)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら